

# がま研 かわめ版



第8号

平成 16年 3月 1日  
発行  
筑波山がまの  
油売り口上研究会

## 大道芸界で初の出演!

### 日本のまつり二〇〇三ひろしま

林 正一

昨年十月十日〜十二日の三日間、広島県広島市において開催された「日本のまつり二〇〇三ひろしま」に、大道芸界では初めての出演をして参りました。

祭り初日の開会式には、名誉総裁であります高円宮妃久子さまを主賓にお迎えし、国の関係省庁・広島県および広島市の関係者をはじめ約八〇〇〇名の観衆の中、昨年度、富山県において開かれた同まつりにおいて『地域伝統芸能大賞』を受賞いたしました五団体が、それぞれに国指定無形民俗文化財の技を披露されました。

その栄えあるステージに、あらゆる大道芸の中で『がまの油売り口上』が初めて出演するという機会を与えていただいたことは、国の文化財行政にとりまして画期的な出来事であります。今までには考えられないことでした。今回、私が出演するこ

とになりましたのは、本年、この催しが茨城県で開催されることに決まっております、今回 歓迎の言葉を県代表で「誰にやってもらおうか」と国・県の間で協議してお

りましたところ、妃殿下から生の『がまの油売り口上』をご覧になりたいとのご要望があったとか? 国・県もそのご要望にお応えするため、私にご指名が掛かったという事です。誠に光栄の極みです。当日は、妃殿下が五団体と口上の演技をご覧いただける時間に制限があるため、各団体が十五分間、私に与えられた時間は演技が八分間と県のPR二分間の合計十分間でした。普段の演技は、平均すると十二〜十五分間位で行っているため、約半分につめるということは大変なことでした。特に効能の言葉には十分に気を配り、余計な言



高円宮妃と歓談する林会長

葉は極力省くことに心掛け、何とか八分間の口上が完成いたしました。

開会式前夜のリハーサルは本番さながらに演技を繰り返し、毎回持ち時間との戦いでした。何とかOKが出ましてリハーサルは終了! 明日の本番を待つだけになりました。

待ちに待った祭り当日、妃殿下がご着席後、北から順番に演技となり、私の出演は中間に休憩を取った後の最初(全体で四番目)でした。開き直ってステージに立とうと考えたら気持ち少し楽になり、ほぼ満足のいく演技できたと思いましたが、ところが、NHKのスタッフの方から時間オーバーでしたと聞かされ、後の方に申し訳のないことをしてしまったと反省しきり……。その夜は、妃殿下を囲んで関係者によるパーティーが会場隣のホテルで開かれ、妃殿下から「楽しい口上をお聞かせいただき有難う」との御言葉を賜りました。

伝統芸能のジャンルではない大道芸! 本来、この祭りのステージに上がる事ができないはずの大道芸! しかし、多くの関係者のご配慮とご支援により、その壁を越えることが出来ましたこと感謝の気持ちで一杯です。これからも日々精進し、大道芸の真髄を追求してまいりたいと考えております。

講座を無事終了することができました。林会長の講義には大変感銘を受けました。あらゆる文献を読破されての裏付けされた豊富な知識と、ユーモアに富んだ話術に引き込まれて、とても有意義で楽しい時を過ごすことができました。

思えば一昨年の九月に病気をしまして、元気だけが取り柄の私でしたので、気持ちも沈みがち、やる気というものが無くなってひどく落ち込みました。一年を経過してもズルズルと引きずってなかなか本来の自分が取り戻せず、ぼんやり日々を送っているとき、がま口上講座の案内を知らせる新聞記事がふと目に止まりました。ひよつとしたら元気を貰えるかもしれないの思いから参加させていただきました。

いざ講座が始まると、果たしてこの長い口上文が頭に入ってくれるかという不安でした。夜、床につくと布団の中で予習、復習。翌朝、犬の散歩の時声を出しての復習を日課に無理の無いよう進めていきました。物語調でリズムカルな口上文は、面白いように衰えかけた脳細胞を刺激してくれました。

茨城に住んで一七年になります。実

際のがま口上を見たのは十年前の筑波山の梅まつりでした。一枚二枚の花吹雪と痛々しい刀傷にハラハラ、ドキドキとした記憶が鮮明に残っています。いま思えば、役者が一枚上でした。林会長が中学生の時に目にし耳にしたがま口上がきっかけで、今日、千人以上の門下生を育成されてこられた道のり、大変なご苦労とご努力があったんだろうと、推察いたします。とても輝きを放つオリジナルの永井兵助にますます磨きがかかって、これからも大勢の人達に元気を与えてください。私はたくさんの元気とやる気と勇気を充分頂戴しました。

これからのがま口上研究会のご発展をお祈り申し上げます。

## 文化は創るもの

「筑波山がまの油売り口上講座」

を終えて

高橋 恒

特に伝統芸能に興味があったわけではない。最近、年齢のせいかわれる。悪くなり、活舌も衰えたといわれる。何とかしなければと思いつながら林先生の門をたたいた。

蝦蟇の油売りの口上、漠然と伝統芸能だと思っていた。ところが、林先生の口から出たのはそれを否定する言葉。「伝統芸能というのは昔から続いたものをそのまま伝える。蝦蟇の口上は、蝦蟇の油を売るためのもの。お客さんの反応を観ながら、飽きさせないように、買いたいという気持ちを高めさせるのが大事。だから、時代や場所、お客さんによつて変わる。蝦蟇の油は伝統芸能ではないんです」

好奇心を掻き立てる語りだった。これが、人を引きつける大道商人のテクニクなのだろうか、発声や活舌の訓練に留めるのはもったいない、はたまたバチがあたる、そんな気分になって来た。

林先生の熱弁は続く。

「筑波山の蝦蟇の油の歴史は、それほど古くはないんです。昭和三十年代くらいから盛んになって、それ以前は地元でもそれほど有名なものではなかった。そして、一九八五年の科学万博でがま戦争が勃発。要は、人が集まるということで、多くの業者が参入したんです。十代目永井兵助も実は先代だか先々代だかが十七代目くらいだろうというところから十八代を名乗っているだけで、初代からの足跡が判っているわけではないんですね」

なるほど、さすが香具師の世界、いい

かげんと言えないこともないが、その柔軟かつ自由な発想に妙に感心する。さらに、土浦市城北町が昭和五八年の「土浦物語」で蝦蟇の油の発祥地と紹介され、白水稻荷境内に「筑波山がまの油発祥の地」の碑が建ったとか。

多くの人が伝統を題材にして文化は創ろうとしている。そして、文化は創るもの、創ろうとするエネルギーが無ければ、滅びてしまうのだろう。

言うまでも無く、オリジナルをそのままの形で継承することも重要だ。ただ、オリジナルに囚われず、時代や地域にあわせてアレンジを加える試みにも大きな意味がある。日本古来の伝統芸能風に仕上げることもできれば、芝居風、オペラ風、ミュージカル風なども面白い。林先生は海外での公演も経験されているそうだが、アレンジによっては海外進出の可能性もあるだろう。

新治村から、蝦蟇ミュージカルや蝦蟇オペラを引っさげて、オペラ座やブロードウェイに殴り込みをかける日が来るのかもしれない。



7月 5日(土)	JA土浦合併10周年記念大会	大川 ちよの
7月20日(日)	老人介護オープンハウス「とーりゃんせ」 開設1周年記念行事	宇野 昭
8月 3日(日)	第55回筑波山ガマまつり	
	筑波山頂出演	渡辺 由正 村竹 儀昭
	世話係	淀縄 光子 宇野 昭
	つつじヶ丘出演	池田 はま江 佐藤 貞弘 寺田 留雄
	世話係	泉 修平 林ちえ 宇野 昭 宇野 次子
	応援	成田 敏夫 元木 三郎 丸山 義雄
9月 2日(火)	高齢者金砂の湯リフレッシュ事業	宇野 昭
9月 3日(水)	〃	田神まさこ
9月 6日(土)	まつり つくば	
	ART TOWN TSUKUBA 2003 - 大道芸フェスティバル -	
	出演	池田 はま江 寺田 留雄
		木内 祥三
	世話係	宇野 昭 林 ちい
		宇野 次子 田神まさこ
9月9・10日(火・水)	高齢者金砂の湯リフレッシュ事業	清水 泰清
9月20日(土)	日本野鳥の会関東地区役員会	清水 泰清
10月23日(日)	三和町仁連天満宮社秋季大祭	池田はま江 宇野 昭
10月26日(水)	土浦市第二小学校PTAのつどい	佐藤 貞弘
11月7・12日	いばらき秋の観光キャンペーン(川崎市)	張替 博男
11月 3日(祭)	水戸市本三丁目商店会ふれあい祭	清水 泰清
11月 8日(土)	生涯学習センターフェスティバル	田神 まさこ
1月 5日(月)	真壁町賀詞交歓会	林 正一
1月 16日(金)	いばらき新発見!フェア(新宿)	林 正一

がまの油売り口上ホランテイア活動記録



初めての一人での演技

足寄町立大誉地小学校

四年 長南 慎次

ドキドキ。ついに三・四年の出演がきた。

僕は、「ガマの油売り」を一人でやる。ガマの油売りとは、ガマからとったという油を、お客さんに売る仕事である。ガマの油は本当は無い。だけど、みんなガマの油売りの話がおもしろいから、たくさん買うんだ。そういうおもしろさや動きをやる練習を重ねてきた。練習し、苦勞しながら動きやおもしろさをだいたいマスターできた。

パチパチと拍手がきた。スポットライトがあたってまぶしかった。その光で、お客さんが見えなかった。見えないので、きんちようしがないと思っていた。目がなれてしまっただけで、よく見えた。また、きんちようしをしてしまった。失敗したけどそこを、「ワハハハ」とわらわらしてくれて、ぎやくにきんちよう感がなくなつた。刀をさやに入れる時、音がきまっただ。そしたらみんなが、「かっこいい。」

と言ってくれたので、てれた。てれたがまだ演技は、終わっていない。気をぬいた

## 北の地にちびっ子上士誕生

学習発表会に日本に伝わる芸能として、ガマの油売りをやりたいという、北海道、足寄の小学校に林会長が送ったビデオテープが活用されました。担任の先生の謝辞に添えて、収録のビデオと演じた子の作文が届きました。

ら演技らしくない。だから、最後まで気を入れて、がんばった。先生に注意されたこと、紙を切るところや、ちらすところを本番に上手にできたことがうれしかった。練習を思い出しながら、本番ができた。学習発表会をたっせいでき、本当に安心した。

### 前略

私のクラスの学習発表会に日本に伝わる芸能をやりたいと思いつき、「がまの油売り」をその一つに入れたと考へました。インターネットで引いてみても口上はあるもの節回しなどがわからず困っていました。林様から思いもかけずビデオテープを送っていただくというご厚意を受け大変ありがたく思っております。十一月九日に発表会も無事終えることができましたので、三・四年のころをダビングして送らせていただきます。

### 中略

子供たちががんばろうとしていることなら何とかしてやろうという人々がたくさんいらっしやるんだということに一番感動しているのは私かもしれません。後略 (國部先生)

## ガマ研のシンボルマークと会旗



GAMAKEN

宇野昭氏 (大世話人) デザイン  
ガマ研シンボルマーク

宇野昭氏 (大世話人) のご厚意により、ガマの油売り口上研究会のシンボルマークが誕生しました。全体 (茨城県章) を図案化して、赤は情熱、青は大自然に恵まれた四六のがまの故郷名峰筑波山を象徴し、下部のローマ字はフラッシュ・ポルドー文字でGAMAKENを力強く配しています。向上発展を続けるがま研を表現していただきました。総会時に会旗が披露されます。

### 編集後記

狂牛病や鶏インフルエンザ。生き甲斐の根本ともいえる食の安全が確保できないのは何とも不安な限りです。まずは自衛に努めましょうか。

本号もたくさんさんの玉稿に感謝しつつ、次号の原稿をお待ちしています。

編集子